

「VICTORY！」は、『湘南ベルマーレ』というJリーグチームのホームタウンに住むみなさんに、サッカーを通じてより多くの人とふれあい、地域への思いを深め、スポーツの楽しさを体感していただきたい、そんな願いを込めてASAがお届けする情報紙です。

企画・制作 / 株式会社 朝日新聞経営研究センター 協力 / 株式会社 湘南ベルマーレ



MF14

Daisuke KIKUCHI

菊池 大介 (きくち だいすけ) Profile

1991年4月12日生まれ(19歳) 神奈川県横浜市出身
軽井沢のアウトレットに買い物に行ったり、3人でディズニーランドや富士急ハイランドにも行きました。寮のある前橋は、湘南と比べるといろいろ不便なこともありましたが、過ごしているうちに好きになって、最後は離れがたい気持ちになりました。
◆入れ替わりに草津に行った古林将太選手とは、連絡をとったりしていますか？
連絡はけっこう取っています。コパショウも悩んだと思うんですけど、悪いことは絶対にならないと思うし、意識を高く持ってやっていたら必ず良い結果がでるから、みたいな話をしました。コパショウとはお互いを刺激しあえる良いライバルです。

Private Time

◆草津では、オフのときに誰とどんなことをして過ごしていましたか？
寮で一緒だった山田晃平選手や佐藤将也選手とは、いつも一緒に行動していました。軽井沢のアウトレットに買い物に行ったり、3人でディズニーランドや富士急ハイランドにも行きました。寮のある前橋は、湘南と比べるといろいろ不便なこともありましたが、過ごしているうちに好きになって、最後は離れがたい気持ちになりました。
◆入れ替わりに草津に行った古林将太選手とは、連絡をとったりしていますか？
連絡はけっこう取っています。コパショウも悩んだと思うんですけど、悪いことは絶対にならないと思うし、意識を高く持ってやっていたら必ず良い結果がでるから、みたいな話をしました。コパショウとはお互いを刺激しあえる良いライバルです。

出会い、成長。草津での1年で確実な手ごたえをつかんだ。

2007年 高校1年生でJ2リーグ最年少デビュー、2008年 17歳でJ2リーグ最年少ゴール記録を樹立。これまでいくつもの記録を塗り替えてきた菊池選手。
高校を卒業した2010年はJ1に昇格した湘南から、J2ザスパ草津への1年間の期限付き移籍を選択した。「湘南とは異なる環境で、人間としても選手としても成長したかったから。まわりの声より、自分の強い意思で、覚悟を決めて行くことにした」。
そんな『菊池大介』が身体も心も大きく成長し、たくましくなって戻ってきた。待ち焦がれたサポーターの期待も高まるなか、今季どんな活躍をみせてくれるのか。

J1のピッチを踏むのはまだ早い

2009年に湘南の昇格が決まったときは、「次はJ1だ！」という意気込みもあり、その舞台でチャレンジしたいという気持ちもありました。でもここでもそれほど試合に出られていなかったの、自分自身をもっと大きくして試合経験も積まなければいけないと思い、草津に行く決断をしました。その部分では、本当に良かったと思います。
草津においても、自分は湘南の選手なので、いつも湘南の試合をスカパーで見ていました。残念ながらJ2に降格してしまいましたが、自分にはまだJ1は早い、そういう運命なのだと思います。僕にはまだ甘さも、トップレベルで戦える選手ではないということです。湘南に戻ってきて、ここで中心選手になってJ1に上がっていくことで、さらに成長できる。だからJ1のピッチが踏めなかったことは、残念というよりもまたいいチャレンジができるという気持ちのほうが強いんです。

草津で学んだ一年

ザスパ草津では「シーズン通して試合に出場すること。10点以上とること」を目標に掲げたのですが、まったく納得できない成績でした(27試合出場4得点)。後半は自分を中心に使ってもらって試合にも出ていたので、もっと得点をあげなければいけなかった。ここで決めていけば勝てたり引分けに持ち込めて、負けをしるのけるという場面も多かったの、少し悔いが残ります。
草津はベテランの選手が多くて、ピッチの中はもちろんピッチの外での体調管理などでも見習う部分が多く、とても参考になりました。とくに熊林親吾選手、高田保則選手、廣山望選手。この3人には本当に出会えて良かったと思います。練習中や試合中にもよく声をかけてくれて、自分の良さを引き出してくれたので、すごく感謝しています。熊林選手も高田選手もベルマーレ出身ですが、とくにそれだからということではなく、チームがどうやったら上手いかわかを常に考えていて、一人一人の選手にアドバイスをしていました。
僕の課題は、パスに対するこだわりや一つ一つのプレーの質を上げることでした。今までは先のことを考えすぎてその前のプレーがおろそかになり、ミスをしてしまうことが多かったの、まずそこを変えたいと思って草津での練習に臨みました。草津は湘南のサッカーとは違ってパスのとき上手くポジションしながらゲームを作っていくというチーム。つまり自分が苦手とする部分を得意とするチームだったので、最初は迷いや難しさを感じていました。

でもスタッフやまわりの選手に声をかけてもらいながら「今、このプレーを丁寧に集中してやろう。次は次で考える」というふうを意識が変わり、ミスも減って落ち着いてプレーできるようになったと思います。

湘南に復帰して

今年の湘南は、僕が行く前のチームとはメンバーもがらりと変わって、新しい選手が多いです。ということは、また1からの激しい競争になると思うので、一日一日の練習をしっかりとやることを意識して取り組んでいます。
このシーズンオフは、実家に帰り中学生のときに所属していたクラブチームの練習に参加させてもらいました。中学生なのによく走ったり、かなり激しい練習をしていたのでちょうどいいと思って。おかげで身体的には問題なく、全体練習に入れました。そのチームでプロになったのは僕だけということもあって、サッカー少年たちにサインをしたり一緒に写真を撮ったり…自分で言うのも変ですけど、ずいぶんちやほやされました(笑)
ただ、責任とか子どもたちやその親御さん、チームのスタッフさんも見ているわけですから、絶対に頑張らなければいけないという気持ちはより強くなりますね。

今季、目指すところ

今年、湘南はJ2の中でもトップの位置でやらなければならないと思うし、自分自身もそこに食い込んで1年を通して試合に出ることはもちろん、しっかり結果を出したいです。昨年も10点を目標に挙げていましたが、結局4点で終わってしまいました。ただ、得点できる手応えは掴んだので、今年は確実に「10点以上」を目指していきます。
自分は年齢では下のほうですが、昨年J2にいてその戦い方はみんなより慣れていていると思うので、その辺は伝えていかなければと思っています。また高校生のときは、試合中に声を出すこともどこか遠慮してしまったり、スタッフの眼を気にしていたりしたのですが、今はまったく気にならないですね。盛り上げるような声とか、今のプレーはどうしてほしいとか、はっきり言えるようになりました。
それに「目の前の練習や試合を自分の中で楽しんでいこう」と思えるようになったこと。この1年の大きな成果です。
湘南に帰ってきたからには、チームのために自分の持っているものをすべて出して勝利に貢献したい。チームは一球となってJ1復帰を目指して頑張ります。サポーターやファンの方の応援は、選手のパワーになるので、ぜひ平塚競技場に足を運んでほしいと思います。よろしくお願いします。

2011 Jリーグ開幕！ 初戦はホーム平塚で vs. ファジアーノ岡山

3月6日(日)13:00
キックオフ!!

●ホームゲーム試合日程 ※会場はすべて平塚競技場

節	開催日	キックオフ	対戦相手
1	3月6日(日)	13:00	ファジアーノ岡山
3	3月20日(日)	13:00	大分トリニータ
5	4月3日(日)	13:00	カターレ富山
7	4月17日(日)	13:00	京都サンガF.C.
9	4月30日(土)	19:00	横浜FC

待ちに待った2011シーズンが2週間後に開幕します。今季のJ2リーグは2回戦総当たりの全38節。J1昇格となる3位以内を目指して20チームによる激しい戦いが繰り広げられます。昨シーズン、11年ぶりのJ1復帰を果たしたにも関わらず、残留とい

う厚い壁を乗り越えることができなかった湘南ベルマーレ。今季は1年でのJ1復帰を目指し、反町監督以下すべての選手、スタッフ、サポーターが一丸となって新たな戦いに挑みます。ぜひ平塚競技場で熱い声援を送ってください。



2011 湘南ベルマーレ新体制発表会見

1月26日、2011シーズンの新体制発表会見がホテルサンライフガーデンで行われました。熱い決意表明あり、笑いあり…。元気で明るい個性豊かな14名の新入団選手と期限付き移籍からの復帰3名の合計17名が加わり、引き続き反町康治監督の指揮で2011年シーズンを戦います。「湘南の伝統である『常にゴールを意識した、攻守の切り替えの早い、アグレッシブなサッカー』は、どのステージでも変わりません。」と大倉強化部長も意気込みを語りました。

2011シーズンの
チームスローガン

「蹴燃」 (しゅうねん)

指揮官が掲げた「百折不撓」とはすなわち「蹴燃」である。蹴燃というのはJ1に上がるということだけでなく「強いベルマーレ」を生み出すということである。